

香菜通信

発行

社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会
東北中国帰国者支援・交流センター

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-7-4
電話：022-263-0948/022-223-1152
URL：http://www.miyagi-sfk.net/china

令和5年9月26日(星期二)下午1点30分在宫城县社会福祉会館5楼举行了中国中心主办的令和5年度培养认知症支援者讲座。中国中心的志愿者和14名工作人员迎来了讲师株式会社阿酷阿比德・法克图利的董事长兼首席执行官的蓬田祐树先生，聆听了「认知症的基础知识及支援的方法」为题目的讲座。讲座后领到了认知症支援者证及橙色手圈。

认知症支援者是指正确理解认知症，不带有偏见，用温暖的目光来守护认知症患者及其家属，不需要做什么特别的事情，是认知症患者及其家属的「支援者」。

9月21日是国际阿尔兹海默症协会(A D I)和世界卫生组织(W H O)联合制定的「世界阿尔兹海默日」。这个举动成为了确认社区支援认知症患者及其家属的观念的第一步。

令和5年度 太白区東部地域移動交流会 開催

举办令和5年度太白区东部地区移动交流会



令和5年12月7日(木)午前10時から中田市民センターを会場に太白区東部地域移動交流会を開催しました。仙台市健康福祉局の今井様を始め当該地区の連合町内会長様、地区社協の会長様、地域包括支援センターの職員様、地区民生委員の皆様、高橋静江様を始め4名の帰国者の皆様に参加いただき、中国センター所長の挨拶に続き「中国残留邦人等の証言映像」のDVD鑑賞、その後太白区役所介護保険課、和田信也様の「よくわかる介護保険～制度の仕組みや手続きについて」の講話を拝聴しました。休憩を挟み簡単な両手を使ったレクリエーションを行った後に、意見交換を行い活発な意見を頂きました。全体的に和やかな雰囲気の中で終了しました。次年度は、もう少し地域を増やして開催したいと思います。

令和5年12月7日(星期四)上午10点在中田市民中心举办了太白区东部地区移动交流会。仙台市健康福祉局今井主事，该地区的联合街道会会长，地区社协的会长，地域包括支援中心的职员，地区民生委员，高桥静江及4名归国者参加了本交流会。在中国中心所长的致辞后，观赏了DVD「遗华日本人等的证词映像」。之后聆听了太白区役所介護保険課和田信也先生的「易懂的介護保険～制度的结构及办理手续等」的讲话。稍作休息后，简单的用双手做了些娱乐活动后，大家交换了意见并且收到了积极的建议。活动在和谐的气氛中结束。下年度我们希望能多在一些的地区举办交流活动。

編集後記

三寒四温を感じる季節となりました。もう直ぐ4月です。日本では桜の季節になります。今年は花見を思う存分に楽しみたいと思います。帰国者の皆様も春を満喫してください。

编后记

正是三寒四暖的季节。快到4月了。即将进入日本的樱花季节。今年打算好好观赏樱花。也希望归国者们尽情的享受美好的春天。

令和5年度 日本語学習展示発表会開催

新型コロナウイルス感染症の蔓延で、中止をしていた日本語学習展示発表会が令和6年1月31日(水)に宮城県社会福祉会館5階教室を会場に開催されました。各教室の先生の指導の下、数か月練習した成果(歌、意見発表、朗読劇等)を皆さんの前で発表し、拍手を浴びてとても楽しんでいました。今後は、他の地方自治体との連携も考慮し、交流の輪を広げていきたいと思ひます。

举行令和5年度日语学习展览发表会

由于新型冠状病毒感染的扩大而取消的日语学习展览发表会于令和6年1月31日(星期三)在宫城县社会福祉会館5楼教室举行。同学们在各教室老师的指导下，将几个月练习的成果(歌曲，发表感想，朗读剧本等)，呈现在大家面前，获得阵阵掌声。今后，我们还考虑与其他地方政府合作，扩大交流圈。





第31回 宮城シニア美術展に出展、見学してきました。

令和5年12月23日から25日まで、せんだいメディアテークを会場に宮城シニア美術展が開催され、佐藤よし子さんが作品を出展しました。25日の最終日に「絵手紙」講師の阿子島先生と一緒に見学に行きました。他の絵手紙作品や工芸作品を見て、とても感激して次年度も頑張って作品を出展する決意をしていました。

出展并参观了第31回宫城县高龄者美术展

宫城县高龄者美术展于令和5年12月23日至25日，在仙台媒体中心举行。佐藤よし子女士出展了她的作品，并在展会的最后一天25日同(图信)阿子岛讲师参观了美术展。当看到了别的图信和工艺品的作品时非常感动，决定明年再出展自己的作品。



令和5年度認知症サポーター養成講座開催

举办令和5年度培养痴呆症支援者讲座



令和5年9月26日(火)午後1時30分から宮城県社会福祉会館5階を会場に中国センター主催で、令和5年度認知症サポーター養成講座を行いました。講師にアクアビット・ファクトリー(株)代表取締役兼CEOの蓬田祐樹氏を迎え「認知症の基礎知識とその支援法」をテーマに講義を受けました。中国センターのボランティアや職員14名が受講し、講義後に認知症サポーターカードとオレンジリングを頂きました。

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守ることができる人で特別なことをする訳ではなく、認知症の人やその家族の「応援者」といった役割です。

9月21日は、国際アルツハイマー病協会(ADI)と世界保健機関(WHO)が共同で制定した「世界アルツハイマーデー」でした。認知症の人やその家族を地域で支える意識を確認する一歩となりました。

